

平成 20 年度 事業 報告

財団法人 千葉市国際交流協会

第 1 事業の概要

平成 20 年度は、青少年交流事業、千葉市国際文化フェスティバル、外国人生活相談、留学生支援事業等の多文化理解推進事業等に加え、新たに留学生との連携強化を図るため、留学生交流員事業をモデル事業として実施するとともに、(財)自治体国際化協会の助成制度を活用し、災害時における外国人市民支援事業を実施した。

また、12月に国際交流プラザを千葉中央ツインビル2号館に移転し、機能の充実を図った。

第 2 実施事業の内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

市民と外国人市民が気軽にふれあい、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を設け、相互の交流の促進を図った。

内 容	開 催 日	テ ー マ	参 加 者
親子三代夏祭りへの参加	8月17日	PAPチーム「千葉踊り」	計 74人 (うち外国人 41人)

イ 国際交流推進スピーチ大会

日本語を学ぶ外国人市民が、日本における生活体験等についてスピーチを行ない、学習成果の発表を行った。運営はボランティア主体で行った。

内 容	開 催 日	会 場	発 表 者	参加者
日本語スピーチ大会と交流会	10月25日	国際交流プラザ会議室	10か国14人	131人

ウ 語学講座

国際理解の向上とボランティア活動の一助とするためにボランティア及び賛助会員を対象に語学講座を実施した。

内 容	受講時間	開催数	講師	受講者
英語サロン (前期)	2時間×10日	1回	リサ・マリン氏	20人
英語サロン (後期)	2時間×10日 (10回選択/18回)	1回	粕谷 ナミ氏	30人
はじめての中国語講座	2時間×20日	1回	律 津 氏	14人
ステップアップ中国語講座	2時間×10日	1回	律 津 氏	21人
はじめての韓国語講座	2時間×20日	1回	姜 龍熙 氏	13人

エ 青少年交流

姉妹都市の市民相互の交流を促進し、次世代を担う青少年にお互いの国の文化・歴史・習慣等について理解を深めるため、引き続き青少年交流事業を実施した。

内 容	期 間	参 加 者
ノースバンクーバー市 (39回目)	(受入) 7月 28 日～8月 20 日 (派遣) 7月 30 日～8月 22 日	高校生 4 人・引率者 1 人 高校生 4 人・引率者 1 人
ヒューストン市(26回目)	(受入) 6月 23 日～7月 7 日	中学生 6 人・引率者 1 人
モントルー市(11回目)	(派遣) 7月 27 日～8月 10 日	青少年 3 人・引率者 1 人

オ 千葉市国際文化フェスティバル

「国際都市・千葉市」を内外にアピールするとともに、市民の国際理解を深めるため、官民一体となった実行委員会を組織し、姉妹友好都市から文化・芸術団体を招いて伝統芸能を市民に紹介した。合わせて国際理解講座として、千葉市ことぶき大学校において国際理解を深めてもらうための啓発事業を実施した。

内 容	開 催 日	会 場	参 加 者
プレイベント (ミニ公演)	10月16日	センシティエントランス	—
フィリピン・ケソン市から「ケソン市芸術団」を招き、伝統芸能を市民に紹介、和太鼓や千葉踊りとのコラボレーション	10月18日	市民会館大ホール	806人
国際理解講座	10月20日	ことぶき大学校	83人

(2) 市民活動支援事業

ア 国際交流ボランティア登録・斡旋

地域に根差した国際交流及び多文化共生の推進を図るため、通訳、日本語学習支援等のボランティア登録及び斡旋を行った。

内 容	登 録 者	斡 旋
通訳	474人	26人
災害時通訳	120人	—
翻訳	305人	—
ホームステイ	113家庭	10家庭
ホームビジット	173家庭	27家庭
日本語学習支援	882人	550人
学校派遣	86人	7人
国際交流支援	387人	23人
文化紹介	150人	1人
合計	2,690人、家庭	644人、家庭

イ ボランティア研修

(ア) 日本語学習支援ボランティア講座

外国人市民に対し、日常生活に必要な日本語の学習を支援するボランティアの育成を図るための講座を実施した。

講座	内容	受講時間	開催数	講師	受講者
入門	これから日本語学習支援を始めるボランティアのための基礎的な予備知識の習得	2時間×1日	4回	松本明子氏	50人
養成	具体的な日本語学習支援の方法を学ぶボランティアのための講座	3時間×16日	2回	松本明子氏	68人
実践	日本語学習支援経験者の資質向上を図るための講座	2.5時間×10日	1回	伊藤三枝子氏	17人

(イ) 災害時ボランティア研修等

災害時における外国人市民とのコミュニケーション能力を有するボランティアを育成するための研修を実施した。また、防災マップの作成、避難所設置モデルの検討を行った。

内容	受講時間	講師	参加者
災害時ボランティア研修	2時間×4回	千葉県職員(国際交流課、総合防災課) 横浜市国際交流協会 甘楽氏 多文化共生センター大阪 田村氏 国立国語研修所 米田氏 東京外国語大学 内藤氏	119人
防災マップの作成	3,000部		

(ウ) 日本語ボランティア交流会

日本語学習支援ボランティア相互の情報交換や交流の場を提供するとともに、横浜国立大学より講師を招き、日本語学習に関するアドバイスを実施した。

内容	開催日	会場	参加者
日本語学習支援に関する相談及び情報交換	9月10日 3月30日	国際交流プラザ会議室	58人

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成

内容	助成団体数
民間ボランティア団体の自主的な国際交流・国際協力活動の促進を図るため、市民団体の活動事業に要する経費の一部について助成	8団体

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と市民の交流の場を創出するとともに、団体相互の連携を図るため、「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の支援を行った。

内 容	開 催 日	場 所	参加団体	参 加 者
ステージ発表、パネル展示による活動紹介、バザー等	3月1日	きぼーる	国際交流団体 41団体	1,800人

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室29か所を協会のホームページに掲載し紹介する等、ネットワーク化を図った。

内 容	各区活動把握団体数
日本語教室を実施している団体	中央区8 花見川区3 稲毛区5 緑区2 美浜区11 (若葉区は無し) 計29団体

(3) 外国人市民支援事業

ア 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談及び情報提供を行った。また、電話の三者通話機能を利用しての電話通訳サービスや市役所コールセンターへの多言語対応等の協力を行った。

内 容	言 語	方 法	件 数
外国人市民に対する相談	英語、中国語、韓国語、 スペイン語、ポルトガル語	相談窓口、電話、 メール等	1,950件

イ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的課題を解決するため、千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

内 容	回 数	会 場	相 談 者
日常生活に関する法律相談	6回 (奇数月)	国際交流プラザ会議室	12人(5カ国)

ウ 留学生へのリサイクル自転車斡旋

留学生の生活支援を目的に、千葉市自転車商協同組合及び市の協力を得て、留学生が在籍する市内の大学へリサイクル自転車の斡旋を行った。

内 容	寄 贈 日	斡 旋 先
リサイクル自転車の寄贈	3月18日	千葉大学 30台

エ 留学生学習奨励

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援を目的として、図書購入費用の一部を支援した。また、地域における留学生との連携強化を図るため、留学生交流事業を実施した。

内 容	対 象	交 付 先
図書購入費の一部支援 (図書カード3,500円の交付)	市内在住・在学の私費留学生	市内6大学 338人
留学生交流員 (交流員の任命、 奨学金10万円の支給)	市内在住・在学の私費留学生 (大学から推薦を受けた者)	市内3大学 3人

(4) 情報収集・提供事業

ア ホームページ運営

協会の事業内容や外国人市民の生活に必要な情報について、インターネットを通じて幅広く発信した。また、ホームページを更新し、情報提供の拡大を図った。

内 容	時 期	対 象
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語)	随時更新	市民、外国人市民等

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配 布 先
協会情報誌「ふれあい」の発行 (日本語) 56～59号(6ページ)	6月、9月、12月、3月 (年4回)	各3,000部	市民、賛助会員、 市内公共施設等

ウ 英語版情報誌発行

外国人市民等を対象に、イベント情報や国際交流・理解に関する情報を提供するため英語版情報誌を発行した。

内 容	発 行	部 数	配 布 先
英語版情報誌「The New Gateway」の発行 37～40号(8ページ)	6月、9月、12月、3月 (年4回)	各3,000部	大学、市内公共施設、 ホテル等

エ 多言語情報誌発行

長期滞留している外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だよりを始めとして有益な情報を外国語に翻訳し、各区外国人登録窓口やホームページに掲載するなど生活情報を提供した。

内 容	発 行	言 語
多言語情報誌の発行及びホームページへの掲載	月1回	英語・中国語

オ 情報ラウンジ

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を整備するとともに情報コーナーにおいて協会PRを実施した。また、インターネットコーナーにおいて引き続きパソコンを設置し、自由に情報収集できる場の提供を行った。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の整備（定期購読紙 19種）	通年	国際交流プラザ情報ラウンジ
情報収集用パソコン（2台）		

(5) 協会移転に伴う広報活動

- ア パンフレットやクリアファイルの作成
- イ 賛助会員、関係団体への周知

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた国際交流事業の実施

- ア 千葉市国際交流プラザ運営業務

内 容
国際交流の場の提供や、外国人市民に対する相談、情報の提供などを業務としている「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を受託